

少し寄り道

中四国地方への旅 ～ つづき ～

粉雪が舞う中、不安な心中でドライブし松江と向かいました。平地に出ると晴天となりましたが、気温はかなり低めです。前回松江城に登城した際は国宝指定前で、城内に多くの火縄銃が保存されておりましたが、今回は修復中で見れなかったのが心残りでした。宍道湖に沈む夕日を眺めなら松江の町を散歩しました(寒かったです)。

三日目は津和野を最終目的地として西に向かいます。妻雅代の御朱印集め(1ページ目は法隆寺から始まります)のため早朝から出雲大社を参拝し、西に向かいながら雪を頂く三瓶山に立ち寄りました。ふるさと納税で頂いた「石見銀山無料券」を活用すべく、世界遺産センターに入り、町を散歩し、龍源寺間部歩を見学(雅代は電気自転車を希望しましたが、健康のため徒歩を強制)。津和野では民宿に宿を取りましたので(学生時代以来です)、夕刻にどうにか間に合うようドライブしつつ現地入り。共同風呂・共同トイレにドキドキしながら就寝しました。翌早朝は津和野散策を終え、萩に向かうこととしました(これから先は宿泊地は決めていましたが、行き当たりばったりの旅を計画)。早朝から津和野の町並みを散策をし、山の中腹にある太鼓谷(たいこだに)稲成神社に登りました。朝食を頂いて急ぎ宿を後にし、一路萩へ。まずは松陰神社にお参りです。和田家では日本三大塾といえば、松下村塾、慶應義塾、和田英語塾ということになっておりますのであしからず。これを正しくいえないと食事なしです。もちろん、御朱印を頂戴し、萩の町並み散策。博物館を見学



江田島



尾道散策

し、萩焼を物色するも残念ながら買い付けには至りません。宿泊地へと向かう途中に防府市で毛利博物館・毛利氏庭園の看板を見つけました。ぶらりと立ち寄りましたが毛利邸の巨大な迫力と庭園の美しさに感動しました(維新の立役者井上馨が毛利家のために奔走し建築)。当日の宿は農家民宿の一軒家です。山に入っていきナビでたどり着けるかどうか心配しておりましたが、無事に到着。その前には旭酒造「瀬祭」の工場が。ここ山口の山の中にあるんだと雇用・産業を含めて感銘を受けました。その夜は公務員を定年したご夫婦が営む一軒家スタイルの宿に泊めて頂き、洋食コースを頂きました。最後は尾道千光寺隣の旅館に宿泊です。妻のために穴子のフルコースを予約してあります。

四日目の朝は、岩国錦帯橋を観察し、呉を通過して江田島の海軍兵学校に向かうことにしました(直進できればすぐですが、陸路を迂回するので時間がかかります)。昼前にはなんとか到着し無料の見学会に参画し、1時間半ほどその歴史、太平洋戦争前後に果たした役割などを確認しました。江田島からぐるりと周り一路尾道へ。夕刻前に宿泊地の千光寺山荘にたどりつきました。明るい間に尾道の街をブラタモリ。活気あるお店を眺めながら散策し、猫を目当てとした多くのアジア系海外観光客に出会いました。坂の移動で疲れた脚を「温泉」と「穴子料理」と生ビールで癒しました。

最終日は松山空港に戻ります。しまなみ海道を今治で降りて、海岸沿いを松山に。途中今ホットな加計学園の獣医学部を遠望し、道の駅を見学、そして松山市内に入るところで砥部焼のお店を見つけて少し買い付け、松山空港から狭山へと戻ったのでした。

旅は様々な人間模様、歴史を教えてくれます。患者様や家族との共通の話題も増え有意義な時間と考えます。次は紀伊半島熊野古道の旅も企画しています。